

日高 志野

ピアノ・リサイタル

ロシア国立モスクワ音楽院で研鑽を積み、エミール・ギレリス国際ピアノ・コンクール優勝の実力者。

世界各地で活躍を広げる期待のピアニストが、満を持して福島市音楽堂に初登場!

活躍の場はコンサートホールのみならず、テレビやSNSでも話題に。

コロナ禍では配信コンサートも意欲的に取り組み、今後も注目を集め続ける事間違いなし!

バッハから始まり、ロシアンピアノイズムの情景を耳で感じられる、鮮烈で、エネルギー溢るプログラムをお届けします。

ロシアから持ち帰った息吹をぜひ一度お聴き下さい。



ピアノ 日高 志野 — ひだか しの —

神奈川県出身。東京藝術大学および同大学大学院研究科修士課程を修了。同声会賞、読売新聞主催新人演奏会賞を受賞。

2014年よりチャイコフスキー記念国立モスクワ音楽院で学び、文化庁新進芸術家海外研修制度研修生、公益財団法人ロームミュージックファンデーション奨学生として同音楽院研究科を卒業。その後、大学院課程で研鑽を積みながら、ロシアで本格的な演奏活動を開始する。

2012年エミール・ギレリス記念国際ピアノ・コンクール(ウクライナ)において、日本人として初優勝を飾るとともにゴールドメダルを受賞し、併せてウクライナ人作曲家ヴラディーミル・プトゥーシキンによる新曲〈ラブソディー〉のベスト・パフォーマンス賞を受賞した。このほか、2016年サンゼ国際ピアノ・コンクール第2位(アメリカ)、2013年トビリシ国際ピアノ・コンクール(ジョージア)でグランド・ホール賞受賞、2010年第7回かずさアカデミア音楽コンクール第3位、日本ショパンピアノコンクール2010入賞など、多数のコンクールで優秀な成績を残す。

日本国内はもとより、ロシア、ウクライナ、ジョージア、アルメニア、スロバキア、ドイツなど世界各地で演奏活動を展開させている。2017年にはロディオ・シCHEDリン生誕85周年記念音楽祭での演奏がロシア全土にラジオ放送され、好評を博した。また同録音はモスクワ音楽院より『Faces of Rodion Shchedrin』としてCDリリースされた。このほか、ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン、ショパン・フェスティバル2012 in 表参道、エカテリンブルグ(ロシア)でのピアノ・デュオ・フェスティバルをはじめとする音楽祭にも出演を重ねている。

これまでに、アレクサンダー・ソロヴィヨフ指揮ロシア・ナショナル・フィルハーモニー管弦楽団との共演のほか、オデッサ・フィルハーモニー管弦楽団、ウラル・フィルハーモニー管弦楽団、ウクライナ国立交響楽団、モスクワ・クラシック・プレイヤーズ室内管弦楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、千葉交響楽団、藝大フィルハーモニア管弦楽団等のオーケストラと、ドミトリー・シトコヴェツキー、ホーバート・アール、山下一史、角田鋼亮、田中一嘉等の指揮者と共演している。

これまでに、坂井由紀子、土屋律子、植田克己、海老彰子、ヴァチエスラフ・グリャズノフ、ユーリ・スレサレフの各氏に師事。

新型コロナウイルス対策の実施



消毒の徹底



マスク着用の徹底



身体的距離の確保